

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	8月21日		
所属学部	融合理工学府創生工学専攻デザインコース		
所属学科・専攻	デザインマネジメント研究室		

1. 留学先について

留学先大学名	ENSCI- Les Ateliers / Milano Politechnico			
留学先所属学部等	Industrial design / Design Engineering			
留学期間	出発日 8月23日	入学日 9月1日	修了日 7月2日	帰国日 7月22日
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/> 民間アパート	その他()	
	通学時間	20分 / 40分		On campus
	通学方法	徒歩 / 電車・徒歩		
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	() 人部屋	その他()
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ
	<input type="checkbox"/> リビング	その他()		
食事	自炊 70 %	学食 %	外食 30 %	その他 % ()
保険	海外旅行保険(名称)	東京海上日動生命保険		
	派遣先大学指定の保険(名称)	フランスの学生保険(名前を忘れました)		<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入
	その他			
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)			
	成田(飛行機) ⇄ 上海(飛行機) ⇄ フランス(飛行機)			

2. 留学にかかった費用について

総費用	約200万		円
出処			
自費	貯金 50,000	円	アルバイト 円
			その他 円
援助	両親 1,100,000	円	家族・親戚 円
			その他 円
奨学金	JASSO 880,000	円	その他名称() 円
その他	千葉大学助成金	円	その他() 円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	30,000	円	その他(クレジットカード)	円
留学中	<input type="radio"/>	海外送金	<input type="radio"/>	キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	現金、クレジットカード
住居にかかった費用	全て現金
その他	クレジット、現金

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	円	119,730		円
海外旅行保険	円	171,470		円
OSSMA	円	29,160		円
査証・在留許可証	円	6,010(フランス) 50EURO (イタリア)	12,560	円
住居	ユーロ	650×6months(Paris)、550×5months(M)	871,150	円
食費	ユーロ	約 3172	415,532	円
通学に要する交通費	ユーロ	100	13,100	円
教科書、教材費		なし		円
その他大学に支払った経費	ユーロ	200	26,200	円
光熱費		なし		円
その他 (旅行費)			約150,000	円
その他 (交友費)			約150,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無		
1 VOLUME (Paris)	正規	3	有		無
2 Atelier de graphisme (Paris)	正規	3	有		無
3 Studio de création Arts plastiques (Paris)	正規	3	有		無
4 WALOMO "Blow up" (Paris)	正規	15	有		無
5 Eco-conception et design (Paris)	正規	3	有		無
6 Introduction pratique au Design	正規	3	有		無
7 Design Engineering studio2 (Milano)	正規	18	有		無
8 Design social innovation	正規	6	有		無
9			有		無
10			有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

ENSCI/ 週1のウィークリークラスから2つ、スタジオワークから1つ、週3のメインプロジェクトから一つ選ぶ。セメスターの最初に1週間ずつ、2回、異なるワークショップがあり、そちらとウィークリークラスどちらをとってもよい。(単位数は同じ)。希望をチューターに伝えたら、一人ずつ面談があり、そこで最終決定をしていく。Polimi/ すべてインターネット上の自分のアカウントで行う。最初の講義を受けてから、正規に決定していく。

3-2. 授業内容、方法に関して

ENSCI/ ほぼフランス語の授業。フランス語が話せないと、講義に参加するのは辛い。ただ先生と学生の間が近いので質問などはしやすい。Polimi/ 人数があいていないので学科が変更になった。先生と学生の関係はあまりなく、わからないことや質問などがあれば自分から積極的に行かなければならない。

3-3. 語学力について

ENSCI/ 基本的なこと、授業はすべてフランス語で行われる。留学生もフランス語を話せる人が多く、英語しか話せないと不自由することが多い。留学担当の先生や、デザイナーによっては話せることもあるが、英語での会話はあまり歓迎はされない。Polimi/ すべてが英語なので、大学内にいるのであれば不自由はしない。英語は基本的に流暢にはなせるので、逆に英語が話せないと辛い。(イタリア人同士はイタリア語だが、イタリア人とグループワークをすることはあまりない。)

3-4. 図書館など学内施設について

ENSCI/ 図書館は一般に開放されており、ワークショップもやり方さえわかれば使わせてもらえる。レーザーカッターや、3dプリンタなど、最新のものがあることも多い。塗装室なども予約せずに使える。撮影室は担当の人に聞く、または予約をしなければならない。またアトリエに配属されると、個人の机も持てる。Polimi/ 自習スペースが充実している。ただし人数がおおいため、最終プレゼン前などは座れず、作業ができないこともある。カフェテリアやフードコートもが充実していて、コーヒーなどが気楽に飲める。

3-5. その他

ポリミは、一度してしまった登録を変更や解除することがとても面倒くさいシステムだった。学生支援センターが遅くまでやっていないので、時間をしっかり計算していかないと間に合いこともあり、ウェブサイト上で管理されているからこそ、融通が利かないことが多かった。

4. 生活面

4-1. 住居について

パリでは、友人の友人が以前住んでいた家を借りることになり、事前によりあまり大家さんと連絡を取れない状態で行ってしまったが、現地でなんとかなった。家賃は手渡したが、海外のATMは大金を一度に引き落とせないことが多く、予定していた日より遅くなることもあった。ミラノに行く際には、友人に紹介してもらったUniplaceという学生向けのサイトを使って探した。手数料はかかったが、安心して探すことができた。

4-2. 食生活について

フランスもイタリアも、日本に比べて野菜や果物が安く、自炊をしたほうが節約もでき、栄養もとれた。特にパリは外食が高かったのも、友人とご飯を食べる時もみなで家で作る方が多かった。イタリアは、アペリティーボという文化があり、ドリンク一杯の値段で様々な料理が楽しめたので、友人とご飯を食べる際は多く利用していた。パリでは、近くのパン屋で、学生割があったため、そこを利用していた。イタリアではカフェテリアが高かったのも、自分でパスタやサラダなどを作って持って行くことが多かった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

フランスでは家ではWi-fi、外ではFreeというキャリアのSIMカードを使っていた。1ヶ月50ギガで20ユーロほどなので、パソコンなどでテザリングをしたとしても十分余るほどだった。イタリアでは、Windというキャリアを使っていた。こちらは20ユーロで5ギガほどで、生活をするぶんには十分だったが、家にインターネットがなかったのも、少し不便なことがあった。

4-4. 服装について

パリは夏は暑い、秋は一気に冷え込むので、ついでにすぐに暖かい服が必要になった。特に朝は冷え込む。イタリアは5月ごろから暑く、その気温が8月まで続いているようだった。ただ湿気が少なく、乾燥しているので日陰は涼しく、家のなかは太陽の光がなければ快適に過ごせる。どちらの国もクーラーがない家が多かった。

4-5. 健康管理について

風邪っぽいと思ったら、早めに薬を飲むようにしたり、体にいいものを食べたりして、悪化しないようにしていた。一度、市場で食べた生牡蠣に当たってしまったがその時は薬と水分をたくさん飲むことで、長引くことはなかった。

4-6. 保険、OSSMAの利用

海外保険は盗難にあってしまった際に利用した。1度目はパリでバッグ、2度目もパリで携帯電話を盗まれた。どちらも警察で被害届をもらい、帰国後に日本から郵送するように言われたため、遅れて提出し、請求金を受け取ることができた。

4-7. 課外活動について

休日は友人と美術館にいったり、郊外へ遠出したりした。ネットで安いバスをさがしたり、宿をさがして、なるべくお金のかからない方法で旅行していた。海外へステイする際は、その国にいる友人に案内をしてもらったりして充実した旅行が多かったように思う。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

ミラノで一度、ソーシャルイノベーションの授業を担当している教授の学外講演にいった。他のデザインやリサーチ、様々な分野の人の話を聞いた。

4-9. 日本から持参してよかったもの

普段使っているクリーム、日焼け止め(日本だけで売っている)。カメラのフィルム。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

リップクリーム、メイク道具など

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

大家さんと一緒に住む場合は基本的にはなにかトラブルやハプニングがあると考えていたほうがよい。私の場合、どちらも英語があまり話せず、フランス語で意思疎通をしていた。そのためなにか勘違いをしていることや、理解していなかったことなどもあって、なかなか難しかったこともあった。フランスではムスリムの家族と住んでいたの、少し気を使うことや驚くこともあった。食事はハラールなので、ハムやアルコール(お酢を含む)などは使用できないので、寿司を振る舞うときに少し気を使った。またお祈りの最中は話せない、など。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

フランス：2016年11月 スウェーデン・ストックホルム、フィンランド・ヘルシンキ(5日間)、約4万円。
 2017年3月 モロッコ・フェズ(4日間)、約4万円。2017年5月 フランス・パリ(4日間)、約2万円。2017年8月 キプロス島・ニコシア(6日間)、約3万円。2017年7月パリ(10日間)、約3万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

古着屋やマルシェを巡ったり、雑誌を買ったり、皆で料理をしたり、写真を撮りに外に出かけていた。カフェに行つてのんびりすることもあった。たまに日本食を食べに行っていた。

5. その他

5-1. 留学先大学について

パリのENSCIIは、千葉大とはかけはなれた雰囲気、小さく、皆が知り合いの学校でした。内容も非常にアーティスティックで、新しいことが多く学べました。先生と生徒の距離が近いのもよいところでした。ポリテクニコは広い学校で、イベントやコミュニティが充実していたように思います。制度もしっかりしていました。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

フランスへ留学する場合はフランス語をある程度学んでから行くこと。すべてどうにか解決するので、何かあっても落ち着いて対処すれば大丈夫。

5-3. 留学を終えて

あったと言う間の11ヶ月でしたが、言葉で説明するにはあまりに濃く、充実していたと思います。自分の中の価値観や考え方、意見が変わっていったのは確実です。これからの活かし方で自分への力になるかどうかは変わってくると思いますが、後悔をしたことは一度もありません。デザインの勉強だけではなく、人間関係、文化の違い、考え方の違いなど、多くのことを実感し、肌で感じ学ぶことができました。なにより、他の国で、「外国人」として暮らすということがどういうことなのかということも理解できました。また何かの形で、絶対に海外に行きたいと思います。